

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4607		
科目名	卒業論文		
担当教員	近藤 克之		
対象学年	4年	開講学期	通年
曜日・時限	月 5		
講義室	1403	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	8
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3 - H 〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4 - F 〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4 - G 〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP5 - I 〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP8 - J 〔創造的挑戦力・達成力〕 コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 H1 論理的思考 — 15% H2 批判的思考 — 15% F1 探究と論拠 — 10% F2 課題解決 — 10% G1 状況把握 — 20% I1 理解・分析と読解 — 8% I2 量的分析 — 6% I3 情報分析 — 6% J1 継続的学修基盤 — 5% J2 創造的思考 — 5%		
教員の実務経験	2010年から日本パラ陸上競技連盟強化委員として、障がいのある選手に対するサポート事業に携わってきました。また、日本スポーツ振興センターや東京都障がい者スポーツ協会主催の選手発掘事業や、関東地区のパラ陸上競技の普及振興にも協力してきました。障がいのある選手のみならず、多くの人がスポーツを行うためには、身近に活用できる施設・環境が整備されていることの重要性やそれらの人々たちを支援する人的資源の確保が重要であることも認識してきました。これらの経験から得られた知識を活かし、学生が実社会で役立てられる思考力を養えるよう本科目を展開していきます（第1回目～30回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		

科目概要・キーワード	本学科での4年間に渡る経験を基に、各学生の興味関心の高い、体育・スポーツに関する幅広い学問領域を踏まえながら卒業論文としてまとめることを目的とする。文献や資料を正確に調べ、指導教員や受講生と討論を重ねながら、学生自身の課題を深化させていく。そして卒業論文の提出までに定期的な報告会や発表会を設定し、一年を通して卒業論文をまとめていく。授業形態は、演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード： アダプテッド・スポーツ、障がい者スポーツ、社会学的調査、質的研究、スポーツマネジメント、スポーツマーケティング、スポーツプロモーション			
授業の趣旨	■副題 個々の研究計画を基に調査や実験を行い、得られた結果を考察し総合的にまとめて発表しよう。 ■授業の目的 本授業の目的は、自身の研究計画を立案し実施することから得られた研究結果に関する討議の内容を踏まえ、それらを総合的に論文としてまとめることです。 ■授業のポイント 自身の興味のある内容を対象にして研究課題を見出す作業は、地道な作業となります。これまでに行われた先行研究を精査し、自身の考えと類似した研究を見出し、その中で採用されている研究についての考え方や方法論、結果の考察を参照することが重要です。ゼミナールⅠ・Ⅱでは、卒業論文に向けた基礎的内容を学修してきました。ゼミナールⅠ・Ⅱで得られた省察的知見を活かし、より主体性を持った授業参加が求められます。4年間の学修内容の総まとめを行っていきます。			
総合到達目標	■スポーツ科学分野において自身の興味関心事を客観的な手法を用いて検証し論文としてまとめることができる。 ・学生自身が興味のある分野・領域の先行研究を概観し、研究計画を立案することができる（第1回、2回）。 ・研究計画の下、実験や調査を実行し、適宜教員との議論や発表を行いながら、得られたデータを適切に整理することができる（第3回～15回）。 ・整理されたデータを利用し、適宜教員との議論や発表を行いながら、論文を執筆することができる（第16回～28回）。 ・執筆した論文の要点をまとめ、他者に分かりやすくプレゼンテーションを行うことができる（第29回、30回）。			
成績評価方法	■研究計画書1回（5%）：適用ルーブリック G1・F1・F2 （評価の観点）研究計画書に、題目（仮）、目的、分析方法などが適切に記入されているか確認します。また、研究を進めるにあたり様々な配慮ができていないか、研究の限界を把握できているかも確認します。 （フィードバックの方法）研究計画の検討回に個々の状況に応じて対応します。 ■研究の実践活動10回（40%）：適用ルーブリック G1・F1・F2 （評価の観点）研究計画書に書かれた内容に沿って、実施することができているか確認します。また、得られた結果を飛躍することなく評価することができているか確認します。 （フィードバックの方法）個々の研究結果に応じて対応します。 ■論文執筆活動8回（40%）：適用ルーブリック H1・H2・F1・F2・I1・I2・I3・J2 （評価の観点）研究計画書に書かれた内容に沿って、実施し得られた結果を飛躍することなく評価し、論文として記述することができているか確認します。また、論理的な記述となっているか確認します。 （フィードバックの方法）個々の研究結果に応じて対応します。 ■卒業論文 中間発表1回（5%）：適用ルーブリック H1・H2・I1・I2・I3・J1・J2 （評価の観点）実施してきた研究の中間地点において、現状を発表し、自身の研究における課題と修正点を明確にします。卒業論文完成に向けて精度を高めていくための項目を列挙します。 （フィードバックの方法）個々の中間発表の内容に応じて対応します。 ■卒業論文発表1回（10%）：適用ルーブリック H1・H2・I1・I2・I3・J1・J2 （評価の観点）実施してきた研究の全体を適切にまとめ、卒業論文発表会にて発表し、質問者に対して応答することができているか確認します。また、自身の研究を社会に活かすことを検討しているか確認します。 （フィードバックの方法）まとめの回にて、授業全体で共有し、学生同士で意見を出し合うと同時に、教員から個々の卒業論文発表に応じて情報を還元します。			
履修条件	「ゼミナールⅠ SSCS 4605」（3年次前学期配当）、「ゼミナールⅡ SSCS4606」（3年次後学期配当）を履修していることが条件です。			
履修上の注意点	研究を適切に進めていくために、関連する研究や文献を精査し、得られた情報を正確に整理するなど、積極的で主体的な受講姿勢が求められます。			
授業内容	回	内容	回	内容

1	①授業テーマ ガイダンスおよび研究計画書の確認 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、どのように卒業論文を執筆していくかを説明できるようになる（G1）。また、研究計画書の内容を説明することができる（H1、H2、F1）。 ③予習（300分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。また、研究計画書を作成してくる。 ④復習（300分） 説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認する。年間を通して、計画的に論文作成が可能となるよう見通しを立てる。	16	①授業テーマ 研究実施経過報告③ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究状況（進捗状況）を説明できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。 ③予習（300分） 研究の進捗状況を報告するために、研究実施経過報告書を作成する。 ④復習（300分） 討議内容を振り返り、必要な修正や、卒業論文執筆に向けた課題の抽出を行う。場合によっては追加の調査・実験を行う。
2	①授業テーマ 研究計画の発表および検討 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究計画における課題解決に向けた検討と実施の際に必要な事項について、議論を通して確認できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。 ③予習（300分） 研究計画を実行するための現実的な課題について確認する。調査等に必要な備品や用具を確認する。 ④復習（300分） 研究計画を実行に移していくために必要な準備事項を確認する。	17	①授業テーマ 論文執筆① ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究結果を論文執筆できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。適宜、担当教員と意見を交わし、論述できるようになる（I1、J1、J2）。 ③予習（300分） 論文執筆にあたり、客観的な資料や文献を整理し、論文を執筆する状況を整える。 ④復習（300分） 執筆した内容に誤字や論理展開の矛盾がないか確認する。
3	①授業テーマ 研究の実施に向けた準備① ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究計画に則り、研究を開始するための準備に必要な事項を説明できるようになる（G1、J1、J2）。必要に応じて、修正事項を述べるようになる（H1、H2、F1、F2、J1、J2）。 ③予習（300分） 研究計画を実行するための現実的な課題について記述してくる。 ④復習（300分） 研究計画を実行に移していくために必要な準備事項を確認する。	18	①授業テーマ 論文執筆② ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究結果を論文執筆できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。適宜、担当教員と意見を交わし、論述できるようになる（I1、J1、J2）。 ③予習（300分） 論文執筆にあたり、客観的な資料や文献を整理し、論文を執筆する状況を整える。 ④復習（300分） 執筆した内容に誤字や論理展開の矛盾がないか確認する。
4	①授業テーマ 研究の実施に向けた準備② ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究計画に則り、研究を開始するための準備に必要な事項を説明できるようになる（G1、J1、J2）。必要に応じて、修正事項を述べるようになる（H1、H2、F1、F2、J1、J2）。 ③予習（300分） 研究計画を実行するための現実的な課題について記述してくる。	19	①授業テーマ 論文執筆③ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究結果を論文執筆できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。適宜、担当教員と意見を交わし、論述できるようになる（I1、J1、J2）。 ③予習（300分） 論文執筆にあたり、客観的な資料や文献を整理し、論文を執筆する状況を整える。

	④復習（300分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理する。	る。 ④復習（300分） 執筆した内容に誤字や論理展開の矛盾がないか確認する。
5	①授業テーマ 研究の実施に向けた準備③ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究計画に則り、研究を開始するための準備に必要な事項を説明できるようになる（G1、J1、J2）。必要に応じて、修正事項を述べるができるようになる（H1、H2、F1、F2、J1、J2）。 ③予習（300分） 研究計画を実行するための現実的な課題について記述してくる。 ④復習（300分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理する。	20 ①授業テーマ 論文執筆④ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究結果を論文執筆できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。適宜、担当教員と意見を交わし、論述できるようになる（I1、J1、J2）。 ③予習（300分） 論文執筆にあたり、客観的な資料や文献を整理し、論文を執筆する状況を整える。 ④復習（300分） 執筆した内容に誤字や論理展開の矛盾がないか確認する。
6	①授業テーマ 研究の実施に向けた準備④ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究計画に則り、研究を開始するための準備に必要な事項を説明できるようになる（G1、J1、J2）。必要に応じて、修正事項を述べるができるようになる（H1、H2、F1、F2、J1、J2）。 ③予習（300分） 研究計画を実行するための現実的な課題について記述してくる。 ④復習（300分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理する。	21 ①授業テーマ 研究実施経過報告④ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究状況（進捗状況）を説明できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。 ③予習（300分） 研究の進捗状況を報告するために、研究実施経過報告書を作成する。 ④復習（300分） 討議内容を振り返り、必要な修正や、卒業論文執筆に向けた課題の抽出を行う。場合によっては追加の調査・実験を行う。
7	①授業テーマ 研究実施経過報告① ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究準備状況（進捗状況）を説明できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。 ③予習（300分） 研究計画を実施するために行っている準備状況を報告するために、研究実施経過報告書を作成してくる。 ④復習（300分） 授業内に指摘された事項に対し、研究実行していく中での課題や修正点を整理し、準備万端にしていく。	22 ①授業テーマ 論文執筆⑤ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究結果を論文執筆できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。適宜、担当教員と意見を交わし、論述できるようになる（I1、J1、J2）。 ③予習（300分） 論文執筆にあたり、客観的な資料や文献を整理し、論文を執筆する状況を整える。 ④復習（300分） 執筆した内容に誤字や論理展開の矛盾がないか確認する。
8	①授業テーマ 研究の実施および研究結果の整理① ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究計画に沿って研究を行い、その結果を表現できるようになる（G1、F1、F2、J1）。 ③予習（300分） 研究実施にあたり、情報を整理することやその保管などを含め、準備を整える。 ④復習（300分）	23 ①授業テーマ 論文執筆⑥ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究結果を論文執筆できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。適宜、担当教員と意見を交わし、論述できるようになる（I1、J1、J2）。 ③予習（300分） 論文執筆にあたり、客観的な資料や文献を整理し、論文を執筆する状況を整える。

	結果の整理に必要な文献や情報の収集を行う。	る。 ④復習（300分） 執筆した内容に誤字や論理展開の矛盾がないか確認する。
9	①授業テーマ 研究の実施および研究結果の整理② ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究計画に沿って研究を行い、その結果を表現できるようになる（G1、F1、F2、J1）。 ③予習（300分） 研究実施にあたり、情報を整理することやその保管などを含め、準備を整える。 ④復習（300分） 結果の整理に必要な文献や情報の収集を行う。	24 ①授業テーマ 論文執筆⑦ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究結果を論文執筆できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。適宜、担当教員と意見を交わし、論述できるようになる（I1、J1、J2）。 ③予習（300分） 論文執筆にあたり、客観的な資料や文献を整理し、論文を執筆する状況を整える。 ④復習（300分） 執筆した内容に誤字や論理展開の矛盾がないか確認する。
10	①授業テーマ 研究の実施および研究結果の整理③ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究計画に沿って研究を行い、その結果を表現できるようになる（G1、F1、F2、J1）。 ③予習（300分） 研究実施にあたり、情報を整理することやその保管などを含め、準備を整える。 ④復習（300分） 結果の整理に必要な文献や情報の収集を行う。	25 ①授業テーマ 論文執筆⑧ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究結果を論文執筆できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。適宜、担当教員と意見を交わし、論述できるようになる（I1、J1、J2）。 ③予習（300分） 論文執筆にあたり、客観的な資料や文献を整理し、論文を執筆する状況を整える。 ④復習（300分） 執筆した内容に誤字や論理展開の矛盾がないか確認する。
11	①授業テーマ 研究の実施および研究結果の整理④ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究計画に沿って研究を行い、その結果を表現できるようになる（G1、F1、F2、J1）。 ③予習（300分） 研究実施にあたり、情報を整理することやその保管などを含め、準備を整える。 ④復習（300分） 結果の整理に必要な文献や情報の収集を行う。	26 ①授業テーマ 論文執筆の仕上げ① ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、論文執筆してきた過程を振り返り、卒業論文に求められる論理展開や整合性、社会に対する説明等を十分に行っているか確認できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。適宜、担当教員と意見を交わし、論述できるようになる（I1、J1、J2）。 ③予習（300分） 論文執筆にあたり、客観的な資料や文献を整理し、論文を執筆する状況を整える。 ④復習（300分） 執筆した内容に誤字や論理展開の矛盾がないか確認する。
12	①授業テーマ 研究実施経過報告② ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究進捗状況を説明できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。 ③予習（300分） 研究の進捗状況を報告するために、研	27 ①授業テーマ 論文執筆の仕上げ② ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、論文執筆してきた過程を振り返り、卒業論文に求められる論理展開や整合性、社会に対する説明等を十分に行っているか確認できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。適

	究実施経過報告書を作成してくる。 ④復習（300分） 報告内容を振り返り、必要な修正や、論文執筆に向けた課題の抽出を行う。	宜、担当教員と意見を交わし、論述できるようになる（I1、J1、J2）。 ③予習（300分） 論文執筆にあたり、客観的な資料や文献を整理し、論文を執筆する状況を整える。 ④復習（300分） 執筆した内容に誤字や論理展開の矛盾がないか確認する。
13	①授業テーマ 研究の実施および研究結果の整理⑤ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究計画に沿って研究を行い、その結果を表現できるようになる（G1、F1、F2、J1）。 ③予習（300分） 研究実施にあたり、情報を整理することやその保管などを含め、準備を整える。 ④復習（300分） 結果の整理に必要な文献や情報の収集を行う。中間発表に向け研究の進捗状況を整理する。	28 ①授業テーマ 論文執筆の仕上げ③ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、論文執筆してきた過程を振り返り、卒業論文に求められる論理展開や整合性、社会に対する説明等を十分に行えているか確認できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。適宜、担当教員と意見を交わし、論述できるようになる（I1、J1、J2）。 ③予習（300分） 論文執筆にあたり、客観的な資料や文献を整理し、論文を執筆する状況を整える。 ④復習（300分） 執筆した内容に誤字や論理展開の矛盾がないか確認する。
14	①授業テーマ 中間発表 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の研究を実施し得られた結果や検討が必要な事項など、現時点でのものを整理し、発表できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。発表した内容を基に、討議できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。 ③予習（300分） 自身が行ってきた研究内容や収集・精読してきた文献に関する情報を現時点のものとして整理する。発表の際に、必要なスライドや配布資料を作成する。 ④復習（300分） 質疑応答にて討議した内容を十分に解釈し、論文作成に向け不足がないか検討する。	29 ①授業テーマ 論文発表準備 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、完成した卒業論文を基に、定められた時間内で研究内容を発表するための準備を行えるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。担当教員と意見を交わし、論述できるようになる（I1、J1、J2）。 ③予習（300分） 完成した卒業論文を基に、わかりやすく他者に説明するために、要点を整理し、それらをどのように発表するか構成を構築してくる。 ④復習（300分） 発表に向け、定められた時間内で発表できるように予行練習を行う。

	①授業テーマ 中間発表を踏まえた今後の研究の方向性の確認 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、各自の中間発表（質疑応答）を振り返り、必要に応じて研究内容の変更事項を説明できるようにする（G1、F1、F2、J1）。 15 ③予習（300分） 中間発表で自身が行った発表内容を振り返り、不確かな情報を整理することやその修正などを含め、卒業論文執筆の準備を整える。 ④復習（300分） 今後の研究を進めていくために必要な文献や情報の収集を行う。卒業論文執筆に向け研究の進捗状況を整理する。	①授業テーマ 卒業論文のまとめ（発表） ②授業概要 完成した卒業論文を基に、定められた時間内で研究内容を発表できるようになる（H1、H2、F1、F2、G1、I1、I2、I3、J1、J2）。 30 ③予習（300分） 完成した卒業論文を基に、わかりやすく他者に説明するために、要点を整理し、それらをどのように発表するか構成を構築してくる。また、発表に向け、定められた時間内で発表できるように予行練習を行う。 ④復習（300分） 担当教員の実務経験を踏まえて、卒業論文を振り返り、社会に研究成果を還元するための方法を検討する。
関連科目	「ゼミナールⅠSSCS 4605」（3年次前学期配当）、「ゼミナールⅡSSCS 4606」（3年次後学期配当）	
教科書	適宜、資料を配布します（Google Classroomや連絡網においても配布します）。	
参考書・参考URL	開講時に紹介します。	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜日の4時限目と水曜日の5時限目に設定しています。指定時間以外でも対応しますので、その際には予め、アポイントメントをとることにより研究室で対応します。	
研究比率		

